

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-9567
住 所 川崎市川崎区白石町 2 - 1
氏 名 日本鑄造株式会社
代表取締役 鷲尾 勝 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本鑄造株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区白石町 2 - 1		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	鑄鋼製造業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,198 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

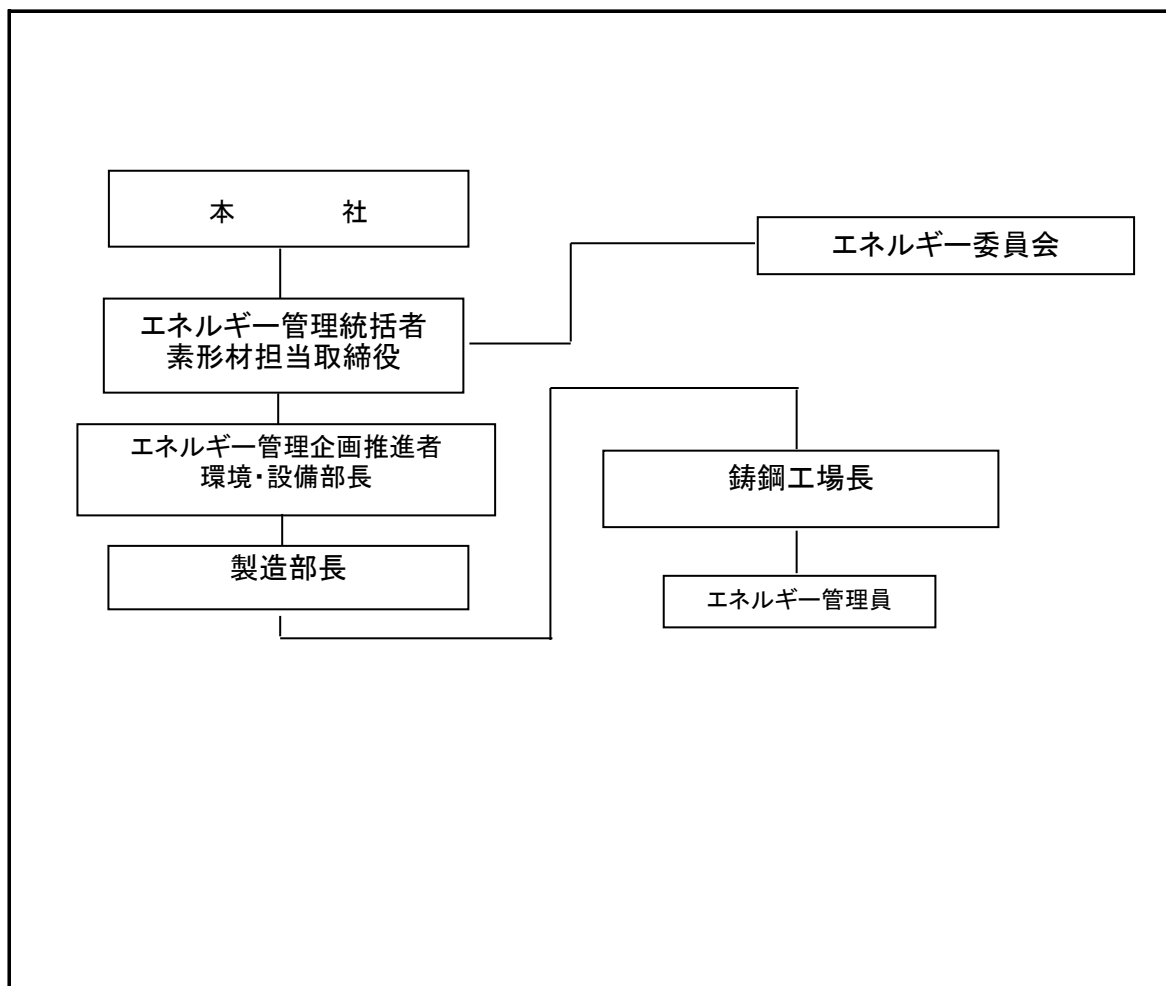
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 推進体制の整備
- 空調設備を高効率なものに更新する。
- トランスを高効率なものに更新する。
- 太陽光パネルの設置。
- 燃料電池の設置。
- 高機能換気システムの設置。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①川崎市内工場の排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を作成する。具体的な実施項目と予算化する必要あるものを半期ごとに確認・共有する。
- ②年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2021		年度	
目 標 年 度		2024		年度	
基 準 排 出 量		(実) 6,004 (調) 3,334	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量		(実) 5,904 (調) 3,234	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
削 減 量		(実) 100	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) 100	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実) 1.7	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		溶解量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /t			
基 準 年 度 の 値		1.257			
目 標 年 度 の 値		1.236			
削 減 率		1.7		%	

ウ 目標設定に関する説明

年度ごとの変動が大きいので平均を算出して平均に近い数値にしました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	○空調設備を高効率なものに更新。 ○トランスを高効率なものに更新。 ○太陽光パネルの設置。 ○燃料電池の設置。 ○高機能換気システムの設置。 ○高周波炉での連続操業による電力省エネ。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

○老朽空調設備の更新による高効率化 ○川崎工場・模型倉庫屋根への太陽光パネルの設置。 ○本社・川崎工場で使用する購入電力を2021年7月1日から全てCO2排出量ゼロ（排出係数が、0.000 kg-CO2/kWh）の再エネ由来の非化石証書を使用した電力に切替。 ○高周波炉での連続操業による電力省エネ ○池上工場の高周波炉0.5 t 炉溶解を効率の良い 1 t 炉に集約することによる電力省エネ ○川崎工場の製鋼（電気炉溶解）を効率の良い 8 t 高周波炉に 8 割以上集約することによる電力省エネ

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	○	現状の設備出力 22 kW について今後の計画について検討した。 模型倉庫屋根への 30 kW の太陽光パネルの設置した。
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	出力 22 kW 本館屋上 発電電力量 7, 127 kWh/年 稼働期間 2016 年 12 月 21 日～2017 年 3 月 31 日	2016 年
太陽光発電設備 (2021 年度実績)	発電電力量 24, 963 kWh/年	-
太陽光発電設備	型倉庫屋根への 30 kW の太陽光パネルの設置した。	2022 年

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備		エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	
電気自動車等から建物等への給電設備		その他 ()	
EV、PHV、FCV		その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特にありません。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	6,004	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,198	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

2

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
鋳鋼工場（川崎地区）	川崎市川崎区白石町2-1	4,990 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
鋳鋼工場（池上地区）	川崎市川崎区池上町2-1	1,014 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂